

平成 30 年度 非核都市宣言平和事業実行委員会  
第 3 回議事録（要旨）

日 時：6 月 21 日（木）午後 6：15～8：00

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員 11 名（鬼原委員、吉田委員、山口委員、牛田委員、中里委員、柴田委員、田村委員、北山委員、島津委員、高木委員、小餅委員）

事務局 3 名

1 開会

2 議題

（1）憲法月間記念行事を振り返って【資料①】

・事務局より、アンケート結果について説明。

【委員】10～20 代の若い人にもっと講演を聞いてもらって、若い人の意見を聞きたかった。

【委員】参加したきっかけとして、知人からの紹介が多い。口コミの力が大きいと感じた。今後も人の力を借りて行いたい。

【委員】この灯を絶やさないようにしたい。若い人に参加してほしい。学校でも、戦争があったという事実を若い人に伝えてほしい。

【委員】水島先生は知る人ぞ知る先生。あれだけ戦争に関する資料の実物を持っていて、説得力のある話を聞けることはなかなかない。学生が講演を聞くだけとなると、「もう学校で聞いたから」と興味を持つのは難しいのかもしれない。学生が主体となって何か作品をつくると、作品をつくった学生の友人等が興味を持って見に来る。若い人に関心を持ってもらいたい。

【委員】憲法という題材を重く感じる人は多いと思う。入りやすくすることが大事だと思った。

【委員】広島市の平和記念公園に行ったら外国人が多かった。外国人で平和に興味のある人もいたので、外国とのかかわりといった面から平和を若い人にアプローチできるかなと思う。

【委員】若い人にどうやって参加してもらおうか考えないといけない。外国の憲法と比較すれば日本の憲法にも興味を持ちやすいのではないかな。

【委員】忌野清志郎が「日本の憲法はジョン・レノンの歌みたいだ」と言っていた。そういう方面から憲法に興味を持つこともあると思う。

【委員】我々は防空法について初めて知り、興味を持ったが、若い人は同じようには興味を持たないのかもしれない。興味を持たせるのはなかなか難しい。外国の憲法と比較するという切り口から日本の憲法を考えるのも面白い。若い人に興味を持ってもらえるような、色々な切り口を考えたい。

（2）夏季平和事業、平和の日イベントについて【資料②】

・事務局より、事業案について説明。

## ① 夏季平和事業

【副委員長】夏季平和事業についてご意見がある方はいるか。

【委員】上映予定の「この世界の片隅に」は、若い人は観た人も多いが、まだ観ていなかったり観損ねたりした人も多いと思う。当時の様子の証言について、イベント当日に映画を観てすぐ感想・証言は難しいかもしれないので、もう少し検討したい。戦時中の生活を細かく描いているリアリティのある作品。10分間の証言だともったいない気がする。ただ、映画が長いので、これ以上長くするのは難しいかもしれない。

【委員】証言を長くすることはできるのか。

【事務局】休憩を入れて、帰ってしまうともったいないので続けて行いたい。

【委員】映画の前に行く武蔵野市の平和施策についての説明はコンパクトにして、なるべく楽しんでいただくのがいいと思う。

【委員】事前に委員で映画を観ておいた方がいいのではないか。

【事務局】委員のみなさんの日程が合えば、事前に予習していただくことはできる。7月30日、31日、8月1日の中で調整する。

【副委員長】7月31日午後でいかがか。

→賛同。

【事務局】7月31日午後2時からで仮決定とする。後日、正式に連絡する。

【委員】映画のちらしは使えるのか。

【事務局】これから確認する。また、当時の様子の証言については、15分間にする。

【委員】日程についてもう一度確認したい。

【事務局】一般向けイベントは8月2日午後1時から行う。子ども向けイベントは8月3日午前11時から午前11時30分まで行う。桜キッズさんには2作品の読み聞かせをお願いします。

【委員】「かわいそうなぞう」と「ちいちゃんのかげおくり」になると思う。

【委員】パネル展の設営は子ども向けイベント後、8月3日午後2時から行う。

【副委員長】夏季平和イベント案について他にご意見がある方はいるか。

【委員】イベントの日時や設営の時間に変更があるので、いつどこに行けばいいのか整理してほしい。

【事務局】開催通知に同封してお送りする。

【委員】市報には夏季平和イベントについての記事を載せるのか。

【事務局】7月15日号と8月1日号に掲載する。

## ② 平和の日イベント

【副委員長】平和の日イベントについて、何かご意見がある方はいるか。

【委員】事前に20分程度で中島飛行機について解説をして、それを入口にしてアーサー・ビナード氏に話してもらおう。詩を朗読すると良いのではないかという話もあるが、ボリュームが大きくなってしまうと思う。

【副委員長】平和の日イベントについてはこの案でよいか。

→賛同。

【事務局】夏季平和イベントの役割分担は7月の委員会で決める。

(3) その他

・事務局より季刊むさしの夏号について説明。

【事務局】島津さんにご協力いただいた季刊むさしの夏号を6月26日に発行する。インタビューを行った中学生も勉強になったと言っていた。都立武蔵野中央公園のパネルや延命寺の平和説明板も掲載しているのでぜひ読んでほしい。

・事務局よりすいとんを食べるイベントについて説明。

【事務局】以前ご提案があった、委員の方ですいとんを作り、食するというイベントについて、子ども食堂とタイアップする案がある。

【委員】延命寺でやれば、子どもやその保護者に見てもらいたい機会になる。

【副委員長】延命寺でやれば、すいとんを食べてもらいながら、子どもやその保護者に戦争の遺品を見てもらえる。いかがか。

【委員】コミセンでもコミセン祭りを開催することがあるが、衛生面にはかなり気を使う。対象を一般の人か委員に限るか線引きをはっきりさせる必要がある。

【委員】延命寺の見学をメインにしたい。

【副委員長】子ども食堂とのタイアップについては検討の余地がある。

【委員】この委員会の委員を対象にするなら、子ども食堂より開催しやすいと思う。

【委員】すいとんを作るにあたって、延命寺の調理場は借りられるのか。

【委員】それは大丈夫。ただし、屋外で行うと保健所から注意される。

【委員】外で行えるのは簡単な調理だけと決まっている。お祭りの屋台でも、屋内で下ごしらえを行い、屋外では温めるだけしかできない。

【委員】せっかく延命寺に調理場があるので活かしたい。

【事務局】委員の皆様は趣旨については賛同いただいている様子。現在2つの案が出ているので、一度整理をして、次回の委員会までに案を用意する。

・委員より大型パネルについて質問。

【委員】パネル展で用いる大型の写真パネルについてはどうなっているか。

【事務局】表彰や会見で使われる2メートル×2メートル程度の大きさのパネルと、もう少し小さいがロールアップできる布のパネルの見積もりを取った。まず、この委員会で作るか作らないかを決めたい。また、市役所でパネル展を行う際はロビーが広いので問題ないが、武蔵野プレイスのギャラリーで行う際はスペースの都合上、他のパネルが削られることになるかもしれない。大きいパネルで興味を引くというのも良いと思うが、パネル展のスペースの問題についてもどうするか決めたい。

【委員】窓に向けて置いて外で歩いている人に興味を持ってもらえるようにしたい。

【委員】持ち運びはできるのか。

【事務局】両方とも折りたたむことができる。

【委員】大きさを具体的に知りたい。

【事務局】どちらを作るにせよ、夏季平和イベントのパネル展には間に合わないの、今後も話し合いたい。

【委員】あまり大きすぎると他の場所で使いにくいかもしれない。

【委員】大きければインパクトがある。自分の家の場所を見つけられる等、目を引くと思う。

【委員】大きさに制限はあるが、メーカーで手ごろな価格でプリントしてもらうこと

ができる。持ち運びができるなら、紙だとシワになることがあるので、布の方がいいと思う。

【委員】自立式なら扱いやすいと思う。2メートル×2メートル程度がちょうどいいかもしれない。3メートル×3メートルは大きすぎる気がする。

【副委員長】この件については、引き続き検討する。

・委員より「都立武蔵野中央公園拡張整備工事完成をお祝いする会」について説明。

【委員】中島飛行機の旧変電室跡地に今回パネルを設置した円形広場ができた。

【委員】以前パネルを見に行ったとき、若い人がとても熱心に読んでいた。「ご存知でしたか」とうかがうと、「何となくしか知らなかったが、このパネルはわかりやすい」とおっしゃっていた。

・次回の委員会は、7月9日（月）午後6時15分～ かたらいの道市民スペースで開催する。

### 3 閉会